

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを  
自衛隊を米軍指揮下に組み込む「統合作戦司令部」発足

たたかい続けよう

いわば80年前の「大本営」へ

3月24日に発足した「統合作戦司令部」について、共産党小池書記局長は「米軍従属下の大本営ができたというもの」と指摘しました。石破首相は就任前（2023/2）に「将来的には日米合同の司令部も念頭におくことも」と主張していました。

司令部は、敵地攻撃を一元的に指揮するものとし、情報・装備で圧倒的に優位な米軍の言いなりになります。連日報道されているように、南西諸島はじめ各地で米軍や他国軍と大規模戦争演習を行い、南西諸島の人々をいわば「集団疎開」することまで進め、石破政権と「日本軍部」は戦争準備にまっしぐらです。

防衛庁の中央指揮所

中央指揮所（CCP）は、防衛省市ヶ谷庁舎A棟の地下1階から地下4階に設置されている自衛隊の最高指揮を執る施設。自衛隊の事実上の最高司令部です。統合作戦司令部トップの南雲憲一郎空将は、この地下4階で指揮をとります。

日本有事の際には、中央指揮所に設置された陸海空3自衛隊の各戦略単位のC4Iシステムと接続した中央指揮システムを通じて防衛大臣が戦況の全般を掌握します。

また在日米軍とのホットラインも設置されました。

まさに80～90年前、「大本営」はこの場所にあった地下壕から、日本軍の戦況を連日発信し、全国民に竹槍でたたかうことを強制したのです。

その結果の一つが沖縄の悲劇（毎日新聞の記事）でした。

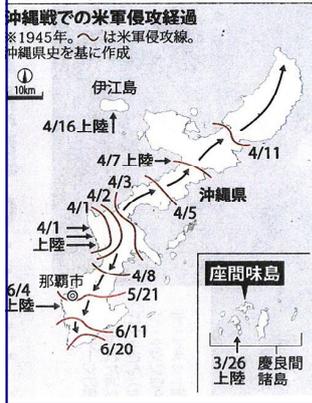


毎日 2025年(令和7年)3月26日(水)

「戦争は、流れがきてからでは、止まりません。教育がどんな態度に流れているか。そこが（元凶）だ。」  
「黙っているのは、認めているのと同じ。」  
「思っているだけでは平和は来ません。行動してください。平和の道は、あるはずですよ。」

「慶文」海軍には、まるで薬物を浴びた虫けらのように、死体の山がどこまでも連なっていた。それを目撃しながら私がいだいた疑問は、これほどの犠牲を正当化できる「国益」とは何か、といつまであった。いくら考えてみても肯定的な答えは見いだせなかった。「沖縄を防御する」ための戦争だということも、こぼれ以上の意味は持ちえなかったし、少なくとも守られたのが沖縄住民ではなかったことが明白だった。

日本軍が特攻艇を隠した座間味島の秘匿壕跡に残る、背骨とみられる遺骨—沖縄県座間味村で12日



座間味島は渡嘉敷島に上陸。山中やガマ（自然壕）に逃げ込んだ住民は手投げ弾や鎌などを使って集団自決した。「いざという時には自決せよ。島にいた日本兵からそう言われたという証言が多く残る。集団自決の犠牲者は座間味島で177人、慶留間島で53人、渡嘉敷島で300人以上とされる。生き残った女性（当時30歳）の証言が座間味村史にある。「校長は『天皇陛下バンザイをしましょう』と言われ、皆で三唱したそのあと、真つ暗闇の壕の中で手榴弾が爆発しました。それがどのように投げたのか、そしていなくなったのか、何も見えません。ただ、苦しそうなうめき声の方々が聞こえてくるだけです」。日本軍は慶留間諸島の島々に小型の特攻艇を配備し、第二次世界大戦末期、沖縄は激しい地上戦の末、米軍に占領された。その後、広島、長崎に原爆が投下され、日本は敗戦へと至る。今も残る戦の跡を追った。 〓 随時掲載

残像 1945 読む写真 沖縄 80年前の→3月26日

米軍上陸 地獄の始まり 座間味島

し、朝鮮人軍夫らを動員して掘らせた「秘匿壕」に隠していた。沖縄本島に向かう米軍の船団の背後から、爆雷を装着して体当たり攻撃をする作戦だった。だが、真つ先に島へ米軍が上陸してきたため、大半は出撃できなかった。大半は出撃できなかった。

＜壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内＞

- ※4/8(火)12:15「東遊園地入り口」恒例の憲法昼パレード
- ※4/11(金)12:15「神戸大丸前」原発やめよレブン行動

◆◆◆地域や団体の催し◆◆◆

★★★ 4月25～27日

映画『わたしのかあさん—天使の詩』上映会

両親は知的障がい者 貧しくとも豊かな家族物語

- 4/25 神戸教育会館大ホール 10:30 14:00
- 4/26 長田区ピフレホール 10:30 14:00
- 4/27 宝塚市ソリオホール多目的ホール 10:30 14:00
- 前売券一般¥1300 当日一般¥1800
- 学生・障がい者手帳お持ちの方¥1000
- (連) 03 - 5332 - 3991